

◎ よもよも原稿 H29.4~9月

月	赤ちゃんから	ちいさなお子さんから	ちいさなお子さんから
4	<p>『くまさん』 まど・みちお/詩 ましませつこ/絵 こくま社</p> <p>「ええと ほくは だれだっけ」冬眠からさめたくまさんは、巣穴からでてきました。でも、まだぼんやりして…。春がやってきた喜びが、やさしい詩と絵で伝わってくる絵本です。</p>	<p>『かってな くま』 佐野洋子/文 広瀬弦/絵 偕成社</p> <p>くまさんがぐわで土をほりかえています。うさぎが「なにしているの？」ときいても、「かってだろ」と教えてくれないくまさん。いつでも勝手気ままなくまさんと森の友達のお話です。</p>	<p>『くまくまパン』 西村敏雄/作 あかね書房</p> <p>パン屋をはじめたくまさんとしろくまさん。おいしいと評判になったのに、おすすめのパンのことでケンカしてお店を閉めてしまいました。そこに評判を聞きつけた王様のかばがやってきて…。王様はおいしいパンを食べることができるかな？</p>
5	<p>『あっ!』 中川ひろたか/ぶん 柳原良平/え 金の星社</p> <p>あっ! なにか見つけたよ。くるまです。くるまにのって「ぶっぶー!」うんてんせきからはいばーい。楽しいおでかけにしゅっぽーつ! あかちゃんの大好きなりのものにおでかけしましょう。</p>	<p>『でんしゃはうたう』 三宮麻由子/ぶん みねおみつ/え 福音館書店</p> <p>「ぶしっ ごろー ぼっ!」かかんかかん かかっ かかっ」でんしゃがしゅっぽつすると聞こえてくるうたをいっしょにうたおう! うんてんせきからのけしも楽しめるよ。</p>	<p>『かげのひこうき』 五味太郎/作 偕成社</p> <p>ひこうきがとんでいきます。じめんにはひこうきのかげもとんでいきます。ひよいとひこうきのかげに入ると、あれれ? かげのひこうきによってどこまで行けるでしょう。ふしぎだけ楽しい絵本です。</p>
6	<p>『おさんぽ おさんぽ』 ひろの たかこ/さく 福音館書店</p> <p>雨の日だっておさんぽはたのしい! いろいろなむしをみつけたり、みずたまりにはいったり。あおいろのながぐつで、どこまでも行ってみよう!</p>	<p>『クツツケロ』 加藤志異/作 本秀康/絵 学研教育出版</p> <p>クツツケロはなんでもくっつけてしまうカエルです。「クツツケロケロクツツケロ」このじゅもんをとなえるとみんなのしくくっついていきます。あれあれ? もとにもどるにはどうするの??</p>	<p>『おじさんとカエルくん』 リタ・アシムマン/ぶん クリスチャン・ロビンソン/絵 なかがわちひろ/訳 あすなろ書房</p> <p>あめのひってすき? それともきらい? あめのあさ、ふきげんなおじさんはおこってばかり。カエルくんはたのしくおでかけです。カフェでおじさんのぼうしをひろったカエルくん。さてどうなるでしょう。</p>
7	<p>『だっころりん』 ナムーラミチヨ/作 主婦の友社</p> <p>ふんわりやさしく、だっころりん。むぎゅむむぎゅーとだっころりん。だっこする人もだっこされる人もみんな幸せ。カラフルな粘土のユニークな表情をだっこしながらお楽しみください。</p>	<p>『やさいのせなか』 きょうちかつ/作・絵 福音館書店</p> <p>ごつごつしている表紙の模様はなんでしょう? 野菜のせなかです。やささが、ざらざら、たくさん模様を写してあります。みんな全部わかるかな?</p>	<p>『わゴムはどのくらいひるかしら?』 マイク・サーラー/文 ツェリー・ジョイナーク/絵 岸田裕子/訳 ほるぷ出版</p> <p>ぼうやは、わゴムがどのくらいひるか、ためてみたよ。ひよ〜んとわゴムはどこまでもどんどのびて、さあロケットによって月へ出発! ページをめくるとびにハラハラドキドキしちゃう絵本です。</p>
8	<p>『やさいだいすき』 柳原良平/作 こくま社</p> <p>いろいろなやさいがたくさんでてくるよ。やさいのなまえしてかな? だいこんいっぽん。まるいじゃがいも。とうもろこしは、きいろ。おみせにいったやさいをさがそう!</p>	<p>『やさいだわっしょいおいしさとどけ隊』 サトシ/さく ドーリー/え 文溪堂</p> <p>やさいがたくさんあったパスがやってきました。かれらはおいしさとどけ隊! 楽しい歌をうたいながらみんなのところにやってきました</p>	<p>『トマトさん』 田中清代/さく 福音館書店</p> <p>あつーい夏。トマトさんはみずあそびをするみんながうらやましくてしかたありません。川に行きたくても、おおきくて自分では動けないのです。ついには泣き出してしまったトマトさんを、みんなが川までおしてくれました。その川の水の冷たいこと!</p>
9	<p>『ともだち』 ヘレン・オクセンバリー/作 文化出版局</p> <p>字のない絵本です。ゆっくりやさしい絵をながめたり、おはなしを作って語りかけたり、自由に楽しめます。大きな犬にだきついたり、猫の背中であぐらして…。たくさん動物とおともだちになてね。</p>	<p>『いしゃがよい』 さくらせかい/さく 福音館書店</p> <p>山でパンダの迷子を見つけたエンさんは、ファンファンと名前をつけて育てることにしました。でもファンファンは体が弱くて、エンさんは自転車にのせ、ひと山こえ、ふた山こえていしゃがよいすることに。</p>	<p>『ノミちゃんのすてきなベット』 ルイス・スロポドキン/作 三原泉/訳 偕成社</p> <p>動物の大好きなノミちゃん。お家に動物がいたらいいな、とお母さんにおねがいしました。お母さんからは家であうのにどんな動物がいいかよく考えてみて、といわれました。どんな動物があたり家族になるのかな?</p>

◎ よもよも原稿 H29.10月～H30.3月

月	赤ちゃんから	ちいさなお子さんから	ちいさなお子さんから
10	<p>『おっばい』</p> <p>みやにしたつや／作・絵</p> <p>すずき出版</p> <p>ぞうさんだって、ねずみさんだってみんなおっばいなのでおおきくなるよ。あかちゃんをおおきく、つよくしてくれるだいすきなおかあさんのおっばい。たくさんので、おおきな一れ！</p> 	<p>『あげます。』</p> <p>浜田桂子／さく</p> <p>ポプラ社</p> <p>ある日へんなのがうちにやってきた！ その日からパパもママも、おじいちゃんもおばあちゃんもみーんなほくのことをしらぶり。たいへんだ！ 早くへんなのをだれかにあげなくちゃ。</p> 	<p>『おにいちゃんといもうと』</p> <p>シャーロット・ソロトウ／作 おーなり由子／訳・</p> <p>あすなる書房</p> <p>おにいちゃんはいちいさいいもうとをからかってばかり。いつもいもうとは泣かされてしまいます。ところがある日、いもうとはなんだかとでも楽しそう。おにいちゃんがなにをいっても泣きません。つまらなくなったおにいちゃん、どうしたらいいのかな？</p> 
11	<p>『きゅっ きゅっ きゅっ』</p> <p>林明子／作</p> <p>福音館書店</p> <p>「いただきますーす」ぬいぐるみとスープをたべていると、「あっ」ねずみさんがこぼしちゃった。ふいてあげるね！ こぼしてしまっても「きゅっきゅっきゅ」と声かけをしてふくと、楽しいコミュニケーションにかかります。</p> 	<p>『しょうぼうしのサルサさん』</p> <p>中川ひろたか／作 市原淳／絵</p> <p>講談社</p> <p>サルサさんはサルのしょうぼうしです。いつもハッピータウンをかじからまもっています。きょうもけむりがでていつうぼうがあります。「ウーカンカン」しょうぼうしやにのってげんばにかけつくと…。</p> 	<p>『ねこどけい』</p> <p>きしだえりこ／さく やまわきゆりこ／え</p> <p>福音館書店</p> <p>はとどけいから「くうくう」とでてくるはとをこわしてしまったねこのねこ。どけいやさんになおしにもっていくと、どけいやさんは、ねこにもいいえをよういしてくれました。ねこのいえにはいったねこは、はとをまねて「くう」「にゃん！」とじかんとをやらせてくれます。</p> 
12	<p>『ケーキをもって』・・</p> <p>浦中こういち／作</p> <p>クレヨンハウス</p> <p>ふたりでケーキをもってくまさんのおうちにいきますよ。プッププー、ドンドンドン！ たいことラッパのおとがたのしいえほんです。うさぎさんや、いのししさんもうわって、ますますにぎやかにしていきますよ。ケーキもいつのまにかだいへんしん！</p> 	<p>『ハンダのびっくりプレゼント』</p> <p>アイン・ブライ／作 福本友美子／訳</p> <p>光村教育図書</p> <p>あたたかい国にすむハンダ。ともだちのところにたくさんのフルーツを頭(あたま)のかごにのせてもっていくところです。どちゅうでいろいろ動物たちがやってきますがハンダはきがつきません。ぶじにともだちにプレゼントできるでしょうか？</p> 	<p>『しんせつなともだち』</p> <p>福音館書店</p> <p>あるゆきのひ。こうぎはたべものをさがしにいきました。するとかぶがふたつありました。ひとつ食べたこうぎは、ろばさんのいえにかぶをもっていくことにしました。そしてろばさんはやぎさんへ。さむいさむいふゆのひの、ころあたたまるおはなしです</p> 
1	<p>『わんわん わんわん』</p> <p>高畠純／作</p> <p>理論社</p> <p>いぬが、「わんわん わんわん」だれをよんでいるのかな？ 「ニャーゴ ニャーゴ」ねこです。つぎのおともだちは…？ ひらがなやかたかな、文字の大きさをきこえのちがいがわかります。どうぶつといっしょにこえをだしてよんでみよう！</p> 	<p>『どうする ジョージ！』</p> <p>クリス・ホートン／作 木坂涼／訳</p> <p>BL出版</p> <p>いぬのジョージはひとりおすずばん。ハリスといこでまっておくとやくそくしたけれど…。だいどころからいいにおいがしてきたら？ きになるねこをみつけたら？ どうするジョージ！ いいこでまっていたらかな？</p> 	<p>『シバ犬のチャイ』</p> <p>あおきひろえ／文 長谷川義史／絵</p> <p>BL出版</p> <p>おいら、豆シバのチャイってなんだ、いごよろしく。おいらのいえにはバクとママ、それからわるガキきょうだいがあるのさ。ごちやうないのアイドル、チャイからみた一日とそのうしろでえがかれている家族のおはなしをたのしんでね。</p> 
2	<p>『しかく みつけた』</p> <p>大塚いちお／さく</p> <p>福音館書店</p> <p>かくかくしかく。しかくいものなかに？ つみき、しょくばん、ビスケット！ いろいろなしかくをみつけてね。しかくのがみ、しかくのポストにだしいこう！ まるとさんかくのえほんもあります。</p> 	<p>『ゆうびんがえ おねがいね』</p> <p>サドラー・ホーニグ／作 バリー・ゴッパツ／絵・</p> <p>徳間書店</p> <p>もうすぐとおいまにすむおばあちゃんのたんじょうび。こぶたくんはおばあちゃんへの「ぎゅっ」をプレゼントしたいと ゆうびんやさんへおねがいにいきました。ゆうびんやさんはこぶたくんの「ぎゅっ」をどうやってはこぶのしょう。</p> 	<p>『もりのつがみ』</p> <p>福音館書店</p> <p>さむい冬、ひろこさんは森であそんだりすやのうさぎたちに、てがみをかくことにしました。てがみは大好きな森のもみの木にさげました。「すみれが咲いたらあいましょう」とかいたてがみ。みんなのところに届くでしょうか。やがて春がやってきます。</p> 
3	<p>『ばいばい またね』</p> <p>さとうわきこ／作絵</p> <p>金の星社</p> <p>おはよう、ひよこちゃん。あそびましょ！ ねこちゃん、こんにちは！ いろいろなおあいさつがでてくるよ。おおきなこえで、いえるかな？ 「ばいばい またね」</p> 	<p>『だれかな？ だれかな？』</p> <p>とよたかすひこ／著</p> <p>アリス館</p> <p>はこのなかにいるのは、だれかな？ だれかな？ にわとりのおかあさんのうしろにいるのは、だれかな？ だれかな？ みんな、なまえをよばれたら「はい」と、おへんじできるかな？</p> 	<p>『えらいこっちゃんようちえん』</p> <p>かさいまり／文 ゆーちみえこ／絵</p> <p>アリス館</p> <p>きょうからようちえん。おむかえのバスにひとりでのれるかな？ しらないおともだちがいっぱいいて、おもちゃはみんなであそばないといけな。はじめての「えらいこっちゃん」がいっぱいのようちえん。びっくりすることばかりのいちにちです。</p> 

◎ よもよも原稿 H29.4~9月

月	ていがくねんから		中学年から		高学年から	
4		『えいっ』 三木卓／作 高嶋純／絵 理論社		『3ひきのくま』 たちもとみちこ／作 ブロンズ新社		『二ひきのくま』 イーラ／作 松岡亨子／訳 こぐま社
		町へ買い物にやってきたくまの子とお父さん。赤信号で待っていると、お父さんが「えいっ」といって、青信号にかえてくれました。くまの子もステキなことをおこそうと考えて…。		ある日、くまの家族は、散歩に出かけました。ちょうどそのころ森で迷い疲れた女の子がくまの家を見つけました。家の中からはおいしそうなスープのおいがしてきます。お腹もすいて、足がたくたの女の子はくまの家に勝手に入っていきます…。		好奇心旺盛な双子のくまの冒険物語です。春になり、はじめて巣穴の外にでてきたこぐまたち。お母さんとの約束を破って、遊びに夢中で迷子になってしまったこぐまたちは…。モノクロ写真の迫力ある写真絵本です。
5		『じてんしゃ ギルリ ギルリ』 角野栄子／さく しまだともみ／え そうえん社		『路線バスしゅっぱつ！』 鎌田歩／作 福音館書店		『おばあちゃんとバスにのって』 ト・テ・ラ・ペーニャ／作 クリスチャン・ロビンソン／絵 石津ちひろ、 すずき出版
		大きい自転車はピンクちゃんの。小さい自転車は犬のボンボンのがります。二人でギルリギルリこいでおさんぽにでかけました。とちゆうでぶたくんやおはなさんもいっしょに森に入っていくと…。		一人でバスにのったことある？ つばさ君たち4人は路線バスにのって公園にでかける計画を立てています。はじめて自分たちだけのバスにドキドキ！ たくさんの人をのせたりおろしたりしながらバスは進んでいきます。		ジェイは教会が終わるとおばあちゃんとバスに乗ってある所へでかけます。雨や車がないことに文句を言うジェイに、おばあちゃんはすてきなものを見せては教えてくれます。そして、着いた所は…。
6		『へんしん おたまじゃくし』 福山欣司／監修 ひさかたチャイルド		『かえるの竹取ものがたり』 俄万智／文 斎藤隆夫／絵 福音館書店		『カエルになったお姫様』 E・D・ベイカー／著 務秀夏子／訳 角川書店
		おたまじゃくしはかえるの子って知ってた？ 3日前に生まれたおたまじゃくしがどんどん成長してかえるになっていくようすを写真でみていきます。こんなふうにはんしんするなんてびっくり！		竹取ものがたりは、日本でいちばん昔にかかれたものがたりだといわれています。でもこれは「かえるの竹取ものがたり」かくや姫はもちろん登場人物はみんなかえるです。絵もしっかり見て読んでみてください。		もしあなたが沼地で悪い魔法をかけられたカエルに「キスして」って言われたらどうするか？ かわいそうになってキスしちゃうかも？ でも気をつけて！ これはキスしてカエルになっちゃったエマのおはなし。
7		『夜空をみあげよう』 松村由利子／文 ジョン・シェリー／絵 福音館書店		『ビーカーくんと放課後の理科室』 うえたに夫婦／絵・文 仮説社		『寿命図鑑』 いろは出版／編 やまぐちかおり／絵 いろは出版
		はるか、弟のじゅんと夜空をみあげるうちにみつつのあかい星を見つけました。ベガ・デネブ・アルタイル、夏の大三角です。もっと星をみたいと、ながれ星キャンプに家族で出かけることにしました。		ビーカーくんはまだ実験の出番がありません。明日の実験の練習をしているみんなにコツを教えてもらい、どうしても実験に参加したいビーカーくん。だけどうまくいきません。落ち込んでいるビーカーくんにみんなは…。		生まれてから死ぬまでの時間は、動物によっても、モノによっても全く違います。一つひとつの命の輝きが紹介されています。新しい発見に夢中になる図鑑です。知っているようで知らないことがたくさん！
8		『つやっつやなす』 いわさゆうこ／さく 童心社		『マクドナルドさんのやさいアパート』 ジュディバレット／文 ロンバレット／画 さくほくしゃ		『やさいの花』 樋下萌／写真 嶋田泰子／文 ポプラ社
		葉の間からのぞくのはつやっつやのなす。ながい「おおながなす」、まんまるな「まるなす」。夏の光のなかいろいろななすが育っています。おいしい野菜をわかりやすく教えてくれる「どんとやさい」シリーズの1冊です。		マクドナルドさんはアパートの管理人。ある日アパートの庭にトマトの苗をうえてみました。するとりっぱなトマトが育ちました。次はアパートの空いた部屋にいろいろな野菜をうえはじめました。ついには牛やニワトリなどをつれてきて…		まるで花火のような表紙の写真。なにかわかりますか？ じつはごぼうの花なのです。では、レタスの花やオクラの花って見たことありますか？ あまり見る機会はないけれど美しい花を咲かせるやさいがたくさんあります。
9		『アントンせんせい』 西村敬雄／作 講談社		『いぬがかいた〜い！』 ポフ・グラハム／さく 木坂涼／やく 評論社		『警察犬になったアンズ』 鈴木博房／著 岩崎書店
		アントン先生は、動物のお医者さんです。毎日いろいろな動物がやってきます。トントントン、朝はやくやってきたのはだれでしょう？ いそがしく動物たちをみていたアントン先生、ある日たいへんなことになってしまいます。		犬がかいたいケイトは、家族で犬の救済センターへ。家のない犬、ひとりぼっちの犬がセンターにはたくさん。その中にかいたかった理想の犬、デイブがいました！ 小さくころころして元気なデイブを連れて帰ろうとすると、別の犬と目が合ってしまい、家族は…。		警察犬の指導をしている鈴木さんに命を救われたトイプードルのアンズ。虐待をうけすられたアンズが、シェパードたち先輩の犬と一緒に訓練を重ねて成長し警察犬になるお話です。

◎ よもよも原稿 H29.10月～H30.3月

月	ていがくねんから		中学年から	高学年から		
10		『ぶんかいきょうだい』 西平あかね／作 アリス館 きょうだいの「ぶんくん」と「かいくん」はふたりそろってぶんかいきょうだい。きょういろいろなものをぶんかいしてすごいのをつくります。ついに「うちゅうせんぶんかいごう」を発明してうちゅうに出發です。		『王さまと九人のきょうだい』 君島久子／訳 赤羽末吉／絵 岩波書店 中国のむかしむかしのおはなしです。九人のきょうだいは顔も体もそっくり。いじわるな王さまが何を言ってきたても九人でのりこえていきます。「いしんぼう」や「はらいっぱい」(人の名前ですよ)たちが大活躍！		『ゆいはほくのよねえちゃん』 朝比奈暮子／作 江頭路子／絵 ポプラ社 3年生のヒロトに、実は6年生の姉がいた。名前はゆい。突然一緒に住むことになってヒロトはとまどうばかり。ちっともやさしくないよねえちゃんだけど、泣きそうな顔で神社に通う姿をみてしまつて…
11		『ぼくじょうたきてね』 星川ひろ子・星川治雄／写真・文 ポプラ社 みんな給食でいつものめるおいしい牛乳ってどこからくるのか知ってる？ まどかの家は牛をそだてて牛乳をしぼるぼくじょうです。お兄ちゃんとふたりでうまれた子牛のせわやそうじを手伝っています。ぼくじょうのしごとをしやしんで見てみよう！		『ママのとしよかん』 キャリ・ベスト／文 ニッキ・デイリー／絵 藤原宏之／訳 朝日本出版社 リジーははじめてママの図書館へ仕事にでかけます。ママが、おはなしの時間に「3びきのこぶた」を読むのでリジーはおオカミ役をすることに。家でいつもママがやってくれるように、オオカミのまねができるかな。 図書館員を体験したリジーの一日です。		『言葉屋』 久米絵美里／作 もとやまさこ／絵 朝日学生新聞社 おばあちゃんは言葉を口にすると勇気と口にしらない勇気をつかっている言葉屋です。言葉のトラブルの解決を手助けするのが仕事だと教えてもらい、おばあちゃんの仕事にずっと興味のあるあつた詠子は言葉職人をめざして修行をはじめます。
12		『おはなしのもうふ』 フェリダ・ワルフ／ハリエット・サウイツ／文 エレナ・オトリゾーラ／絵 光村教育図書 子どもたちはサラおばあちゃんのおはなしを「おはなしのもうふ」にこしかけてきくのがだいすきです。 ある日サラおばあちゃんはこどものくつしたに穴があいていることに気がつきました。つくってあげたいけれど気がありません。おばあちゃんはいいいことを思いつきました		『おくりものはナンニモナイ』 ハトリック・マトル／作 谷川俊太郎訳 あすなろ書房 ムーチはなんでももっているともだちのアーチに『おくりもの』をあげたいけれど、なにがいいのかまったく思いつきません。ほしいものは「ナンニモナイ」って言うけど「ナンニモナイ」っていったいなんなの？ 困ってしまったムーチは大きな箱にリボンをつけてあげることに。		『賢者のおくりもの』 オー・ヘンリー／原作 いもとようこ／文・絵 金の星社 クリスマスのプレゼントをおくりたいのに恋人同士のふたりににはまったくお金がありません。そこでふたりはそれぞれ自分もっているもので、なんとか贈り物をおくることにしたのですが… 世界中で有名なお話が読みやすい絵本になりました。クリスマスに読んでみませんか？
1		『こいぬ、いたらいいなあ』 おのりえん／文 はたこうしろう／絵 フレーベル館 ふー、まー、いー、うーは4人兄弟。外はまっしろなゆきにおおわれています。げんきいっぱいあそんでいると、いーがちいさな足あとをみつけました。たどっていくと、そこにはふとったダックスフントのシヨコラがいました。		『オオカミから犬へ！』 ハドソン・タルボット／作・絵 真木文絵／訳 岩崎書店 人と犬がながくいっしょにくらしはじめたのはいつからでしょう？ かわいいうつろも、大きくなったのしいシェパードも祖先は同じオオカミです。ずっとずっと昔、人と犬のあいと進化のたびをえがいたものがたりです。		『スマッジがいるから』 ナン・グレゴリー／作 ロン・ライトバーン／絵 岩元綾／訳 あかね書房 シンディは子犬をひろいました。住んでいるホームでは飼えないので、働いているホスピスへ連れて行くことに…。子犬は、スマッジと名づけられシンディたちに生きる喜びと心のつながりをもたらしてくれました。
2		『さつのおくりもの』 森山京／作 講談社 くまたには大好きなえほんがあります。ある日、山のむこうの村が大雨になってしまいました。そこでみんなでえほんをおくることになりました。くまたは大好きなえほんをおくろうか迷うのですが… しばらくして知らない子からお手紙がとどきました。		『ゆうひんです ポストです』 かこさとし／著 復刊ドットコム みなさんは、ポストにいれたはがきや手紙がどうやって運ばれていくか知っていますか？ 遠い町や外国にも、船や飛行機にのせて、いろいろな人の手を経て運ばれていきます。ちょっと前に書かれた本ですが、かこさとしさんの絵でわかりやすく書かれています		『ラブレターを書こう』 灰島かり／作 藤原ヒロコ／絵 玉川大学出版部 ラブレターって書いたことある？ ラブレターではなくても、だれかにだいたすきで伝えたいとき、どんなてがみを書いたらいいのかな？ ラブレターはもちろん、ファンレターや家族へのてがみなど、いろいろなてがみの書き方を教えてもらいましょう。
3		『みてよ びかびかランドセル』 あまきみこ／文 西巻茅子／絵 福音館書店 かこちゃんは、かってもらった赤いすてきなランドセルをだれかにみせようと、よもぎのはらにやってきました。きつねのこ、うさぎのこ、ねずみのこがせおつてみたいといったけれど…？ せおみましょう。みんな、びつたりのランドセル。		『文房具のやすみじかん』 土橋正／文 小池社太／絵 福音館書店 みなさんは、鉛筆や消しゴムがどうやって書いたり、消したりできるか知っていますか？ ノートの上を走り回った色鉛筆やボールペンを消すにはどうしたらよいでしょう？ 「書くこと」「消すこと」のしくみがわかる絵本です。 春休みの間、もしかしたらみなさんの机の上でもこんなおしゃべりがあっているかも？		『たくさんのドア』 アリスン・マギー／文 ユ・テウン／絵 なかがわちひろ／訳 主婦の友社 みなさんの前には未来へのドアがたくさんあります。その向こうには新しいこと、驚くこと、おもしろいこと、反対に何もみつかからないこと、たくさんのことがまっています。 新しいことに一歩ふみだす時に応援してくれる絵本です。 今日、あなたのドアの向こうには何があるんだろう？